

- ストレスフリーで快適な旅行環境の実現をめざし、訪日外国人旅行者・日本人出国者の大宗が利用する空路において世界最高水準の利用者サービスを提供するため、先端技術の活用等により、地方空港も含め、旅客が行う諸手続や空港内外の動線等を抜本的に革新し、空路の利用に係る一気通貫での円滑化等を通じた旅客満足度の向上を図る。
- 旅客手続の各段階に最先端の技術・システムを導入し、横断的に効率化や高度化を追求することで、手続全体の円滑化を実現し、旅客負担を軽減。
- 首都圏空港においては、2021年7月から、顔認証により搭乗関連手続きを一元化するOne IDシステムの運用が開始された。One IDシステムの導入により、チェックイン等最初の搭乗手続きの際に顔写真を登録することで、その後の搭乗手続き（手荷物預け、航空保安検査、搭乗ゲート）において搭乗券やパスポートの提示が不要となり、いわゆる“顔パス”で通過できるようになった。

旅客手続各段階での最先端技術・システム導入(イメージ)

